

春すばて夏来にげら
つとぬす
短く

し白妙の衣ほすてふ
のやうに
中目は通るように戻る

天の香具山

中一二三

もう春は過ぎ去り、いつのまにか夏が来てしまったようですね。
香具山には、あんなにたくさんのおまのまの白な着物が干されているのですから。
(百人一首 二番 持統天皇)